

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年指導センターパトロール車借上事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	10	01	52
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課				
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	青少年健全育成における補導活動の効率的推進を図る。
事業内容	青色回転灯を装備した公用車でパトロールを行うことにより、青少年の加害的行為や被害を未然に防ぎ、青少年の健全育成のための環境浄化を推進する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成30年度に公用車（パトロール車）1台をリース車両に買換えた。令和元年度には、もう1台の老朽化した公用車（パトロール車）1台を次年度に買上げる（リース）予定で、より一層安全でかつ効率的な市内パトロールのため、必要な装備の充実に努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	補導員活動従事者数	2,598	2,278	2,644	人	↑↑↑	年間の補導従事者数
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 借上車両により安全で効率的なパトロールの実施が図られている。 ・借上期間（平成31年3月1日～令和8年2月28日）		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,489,730	3,609,385	3,388,268				
事業費(b)(円)		459,930	640,785	458,568				
うち一般財源		459,930	640,785	458,568				
職員給与費(c)(円)		3,029,800	2,968,600	2,929,700				
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.40				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	平成23年度から借上げているが、平成31年3月に新車両として競争入札により買い換え（リース）を行った。	③取組における課題(Check)	リース車両1台の他、1台は、買上車両のため、年数が古く、安全確保上からも、次年度の買い換えに向けた事業計画及び予算計上を行う必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	新車両の買い換え（リース）と冬季の運行の安全確保を図るため、スタットレスタイヤ等を装備しパトロール活動を実施している。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	安全確保を第一に捉え、現在の買上車両の買い換え（リース）を行うため、事業計画及び予算計上を行う。また、2台の車両自体の整備の充実とパトロールの計画と操業に努める。